

第4回 長安ロダム環境モニタリング委員会 議事概要

1. 日 時：平成26年2月24日（月）10：00～12：00
 2. 場 所：ホテル千秋閣 6F孔雀の間
 3. 出席委員：木下 覺（徳島県植物研究会 会長）
小林 實（河川・溪流環境アドバイザー）
松田 春菜（徳島県立佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンター
専門研究員）
森本 康滋（徳島県自然保護協会 会長）
山田 量崇（徳島県立博物館 主任学芸員）
山中 亮一（徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部
エコシステムデザイン部門 講師）
◎湯城 豊勝（阿南工業高等専門学校 副校長）
- （五十音順、◎：委員長）

4. 配付資料：

- 資料1 議事次第
- 資料2 委員名簿、配席図
- 資料3 委員会規約
- 資料4 長安ロダム改造事業に係る平成25年度モニタリング調査の実施状況及び
評価結果[概要版]
- 資料5 長安ロダム改造事業に係る平成26年度モニタリング実施計画書(案)[概要版]
- 別添資料1 長安ロダム改造事業に係る平成25年度モニタリング調査の実施状況
及び評価結果
- 別添資料2 長安ロダム改造事業に係る平成26年度モニタリング実施計画書（案）
- その他 参考 傍聴される方へのお願い
参考 取材についてのお願い

5. 議 事：

- (1) 長安ロダム改造事業の進捗状況について
- (2) 平成25年度のモニタリング調査結果について
- (3) 平成26年度のモニタリング実施計画（案）について

6. 議事概要：(指摘委員の敬称略)

第4回長安口ダム環境モニタリング委員会において平成25年度モニタリング調査の実施状況及び評価結果、平成26年度モニタリング実施計画書(案)について審議を行った。

(1) 平成25年度モニタリング調査の実施状況及び評価結果について

【騒音・振動】

特になし。

【水環境】

・巡視員や施工者による監視については、工事实施箇所と工事を実施していない箇所の比較をしないと影響の有無は判断できないため、今後は施工箇所より上流側などの工事を実施していない箇所でも記録を実施し、比較が可能なようにしてほしい。

・夏場の底層のDO(溶存酸素量)の低下については、今後も同じ様な傾向がみられた場合には、底泥のORP(酸化還元電位)や重金属等の溶出の有無を調査するなどのモニタリングを実施してほしい。

・監視結果の色見本を用いた水の色の記録は、写真では光の状況等で色が違ってみえるが、色見本を使用することで誤解なく状況を把握できるようになった。

【植物】

・ナンゴクウラシマソウは、那賀川沿いに非常に多くの生育が確認され、分布範囲が広いこと、また生態や移植の情報が明らかになってきたことは、国土交通省のこれまでのモニタリング調査の大きな成果であると言える。

・ラン科Bのダム近傍の自生地は徳島県内でも非常に珍しい。これまで移植等の知見がほとんどない中、試験移植等にチャレンジしていただくのはありがたい。ランの間は盗掘の影響が大きく、本地域はダムの近傍に位置することで盗掘されなかった可能性が高い。移植にあたっては、移植適地を探すだけでなく、ダムの近くに移植に適した箇所を造成して移植を行うなどの取り組みも検討してほしい。今後も調査検討により保全に役立つ新たな知見も得られると考えられるので、モニタリング調査や検討を可能な限り継続してほしい。

【猛禽類】

・ミサゴについては、長安口ダムから2km程度離れた同じ場所で繁殖しており、工事箇所からも遠いため工事による影響はないと考えられる。

・サシバについては、営巣木の伐採による繁殖への影響を心配したが、平成25年繁殖シーズンに繁殖に成功し、工事による影響は確認されなかった。次年度は同じ営巣木

で繁殖するか注意してほしい。

- ・オオタカについては、平成 26 年繁殖シーズンの 12 月～2 月調査で確認されていない。今年の出現が遅れていることから追加調査の必要性を検討してほしい。昨年度の営巣箇所付近の出現状況が気になるので、その点も調査時に配慮してほしい。
- ・騒音等に関しては十分配慮されており、工事の影響は出ていないと考える。

(2) 平成 26 年度モニタリング実施計画書（案）について

【水環境】

- ・濁水が続いた場合に長期間（2 ヶ月程度）底層の DO が低下する場合には、底泥や底泥からの溶出の調査が必要になると考えられる。状況に応じて定期水質調査の追加調査を検討してほしい。選択取水設備の運用方法にも影響するので確認が必要であると考える。

【植物】

- ・ラン科 B については、生育環境が特殊な種であることから、移植先の環境の確保が難しいと考えている。そこで、小規模でもいいので、生育環境を整備することも視野に入れて保全対策を検討してほしい。
- ・移植作業では、細心の注意を払って移植個体に配慮した方法を実施するなど非常に努力されていると感じる。今後とも移植個体への注意を払いながら、移植先の環境にも配慮した移植作業を実施してほしい。また、移植元の環境と同様の環境に保つように注意して移植先の環境管理を実施してほしい。

【その他】

- ・長安口ダム改造事業に係る工事も進んできているので、委員による現地視察と意見交換会の実施を検討してほしい。
- ・本委員会で検討している環境への取り組みを全国に PR できるようなやり方を検討してほしい。他の事業の取り組みの参考にもなると考える。
- ・委員会資料に専門用語が多いため、一般の方が調査の目的や内容を理解し難い部分がある。適宜専門用語の解説を入れるなど一般の方々に分かりやすい資料作成に努めてほしい。

以上の議事を踏まえ、平成 25 年度モニタリング調査結果および平成 26 年度モニタリング実施計画は了承された。

(以上)